

令和5年度金沢市議会3月定例会議会

陳 情 文 書 表

目 次

- | | | |
|---|--------------------|---|
| 1 | 新たに受理した陳情（2件）..... | 1 |
|---|--------------------|---|

1 新たに受理した陳情（2件）

番号	陳情件名	陳情人	受理年月日
	陳情要旨		付託委員会
第 7 号	小中学校の体育館にエアコンの設置を求める陳情書	新日本婦人の会金沢支部 支部長 中内 晃子	6.2.27
	<p>文教消防</p> <p>陳情趣旨 金沢市内の小中学校体育館には、エアコンが設置されていない。 近年、夏の記録的な暑さが続いている。この傾向は和らぐことはなく、さらに進むことが予測されている。暑い時期の集会は教室で行うなどの対応も取られているが、体育をはじめとして、部活動や夏休みの活動で子どもたちは熱中症の危険にさらされている。 また、1月1日の能登半島地震の際、金沢市内でも学校体育館が避難所として利用された。暖房のない体育館はとても寒く、避難した人からは、寒くて非常につらかったとの声が寄せられている。 小中学校の体育館は災害時には避難所となる、地域の重要な防災拠点である。一時的な避難だけでなく、長期的な避難場所として使われる可能性もある。災害による避難時、暑さ寒さで体調を崩すことのないよう、また、災害関連死を防ぐためにも、体育館のエアコン設置は必須である。 小中学校体育館へのエアコン設置を求め、下記のとおり陳情する。</p> <p>陳情項目 1、小中学校の体育館にエアコンを設置してください</p>		

番号	陳情件名	陳情人	受理年月日
	陳情要旨		付託委員会
第 8 号	金沢市の子ども医療費を通院についても18歳まで完全無料化するよう求める陳情書	新日本婦人の会金沢支部 支部長 中内 晃子	6.2.27
	<p>市民福祉</p> <p>陳情趣旨 石川県は2023年度から子ども医療費助成制度の対象年齢を通院3歳までから就学前までに引き上げ、親の所得制限を撤廃した。それを受けて、石川県内では金沢市以外の全ての自治体で入院・通院とも18歳まで自己負担なしとなった。 金沢市でも2023年10月から子育て支援医療費助成制度により、入院について助成対象が18歳までに拡大し、1日1,000円となっていた窓口負担が無料となった。また、独り親家庭等の18歳までの子どもの入院・通院に係る窓口負担も無料となった。これらの変更はとても喜ばれている。 しかし、通院については対象年齢が中学卒業までとなっており、1日500円、1か月1,000円上限の自己負担がある。これらの負担があるのは石川県内では金沢市のみである。入院が必要となることはそれほど多くはなく、感染症、けが、アレルギーなど、通院の機会が圧倒的に多いのが実態である。 金沢市の全ての子どもがお金の心配なく医療を受けられるよう、また、安心して子育てできる金沢市になるよう、以下陳情する。</p> <p>陳情項目 1、金沢市の子どもの医療費助成制度の対象年齢を、通院についても18歳までに拡充してください 1、金沢市の子どもの医療費助成制度の窓口負担を、通院についても無料にしてください</p>		